

講義録レポート

講 座	証券アナリスト	科目①	2次科目別集中セミナー
目標年	2012年合格目標	科目②	市場と経済
コース	2次対策	回 数	1 回

収録日	2011 年 8 月 2 日		
講師名	小川 先生	講義録 枚数	/ 枚 ※レポート 含まず
		補助レジュメ 枚数	3 枚 (サイズ)

講義構成	講義 (29) 分		
使用教材	①		
	②		
	③		
	④		
配布物	有 <u> </u> 無		
	①		
	②		
	③		
正誤表	有 <u> </u> 無	枚	
備考			

証券アナリスト 講義録			科目	市場と経済	コース		回数	/
-------------	--	--	----	-------	-----	--	----	---

配布物	★ミニテスト：あり []	なし	★答 練：問題用紙・解答用紙・解答解説	講師	小川	先生
	★実力テスト：あり []	なし	★その他のレジュメ []			
	◇配布物なし					

テキスト ページ	黒 板 内 容
	① マクロ 経済学 (国際経済学含む) ② ミクロ 経済学 ③ 経済事情

2次科目別集中セミナー

－ 市場と経済の分析 －

TAC証券アナリスト講師室

経済担当：小川

1. 「市場と経済の分析」の概要

➤ 従来の「経済」科目が、平成20年(2008年)以降実施されている新プログラム試験から「市場と経済の分析」に変更された。このプログラムで既に4回の本試験が実施されている。

➤ 主な学習領域は、以下の通り。

- ① マクロ経済学(国際経済学を含む)
- ② ミクロ経済学
- ③ 経済事情

① マクロ経済学は、新プログラム試験に移行後も引き続き中心的な学習分野になっています。経済政策の効果、特に中央銀行の金融政策に関連した問題が頻出です。また、成長会計や新古典派経済成長理論といった長期の経済成長に関する理論が取り上げられることもあります。

② ミクロ経済学は、「市場と経済の分析」の「市場」の部分を構成しています。ゲーム理論と情報の経済学(逆選択、モラルハザード)について、特に具体的な数値を用いた計算問題が出題されることがあります。

③ 経済事情は、現実の時事的な話題についての知識です。1990年代の日本のデフレや最近のギリシャ財政問題など、ある時代のトピックに関する知識が求められます。必ずしも協会通信テキストの記述に基づいて出題される訳ではありません。経済問題に関する普段からの関心度合いが試されるところといえるでしょう。

2. 新プログラム試験の出題実績

第1回 (平成 20 年)	配点ウェイト	10.7% (=経済 45/満点 420)
---------------	--------	-----------------------

- 第1時限・第1問 経済動向分析
業況判断 DI と物価上昇率、政策金利、イールドカーブ
- 第1時限・第7問 金融政策とマクロ経済+IS-LM 分析
テイラールールに基づいて今後 10 年間の政策金利の方向を予想。
- 第2時限・第9問 複占市場とナッシュ均衡
クールノー・ナッシュ均衡となる各社の生産量を求める計算問題。

第2回 (平成 21 年)	配点ウェイト	14.2% (=経済 60/満点 420)
---------------	--------	-----------------------

- 第1時限・第1問 マクロ経済と株式投資収益率
GDP と企業業績の差異、労働分配率と株式投資収益率の関係等。
- 第1時限・第8問 国際経済・金融市場の諸問題
米国の双子の赤字、グローバルインバランス、人民元改革等。
- 第2時限・第9問 為替市場介入
不胎化介入と非不胎化介入、IS-LM 分析、投資戦略。

第3回 (平成 22 年)	配点ウェイト	14.2% (=経済 60/満点 420)
---------------	--------	-----------------------

- 第1時限・第1問 マクロ経済
日本の貯蓄投資バランスと国債市場
- 第1時限・第7問 ゲーム理論と情報の経済学
同時決定ゲーム、逐次ゲーム、貸出市場における逆選択問題。
- 第2時限・第9問 マクロ経済と金融政策
AD-AS (総需要-総供給) 分析、デフレと企業収益、
イールドカーブ、インフレターゲット

第4回 (平成 23 年)	配点ウェイト	14.2% (=経済 60/満点 420)
---------------	--------	-----------------------

- 第1時限・第1問 日本の金融政策とマネーストック
マネタリーベース・M2 と貨幣乗数、1990 年代以降の金融環境
- 第1時限・第7問 国際経済・金融市場の諸問題 (ギリシャ財政問題)
カバーなし金利平価、為替リスク、実質為替レートと国際競争力
- 第2時限・第9問 経済成長理論 (ソローモデル)
成長会計、資本の限界生産性 (資本収益率)、
純粋期待仮説に基づくイールドカーブの形状

3. 試験対策と皆様へのメッセージ

- 試験対策としては、まず1次レベル試験対策でも学習した、経済学の代表的なモデルの見方・考え方を一通り復習することが必要です。1次試験では正解が必ず一つある正誤選択問題だったので、理解が曖昧な問題でも得点することができたかもしれませんが、しかし、2次は論述試験なので、自分で解答を記述しなければならず、そのためには経済モデルの正確な理解が求められます。
- 2次では、現実経済の諸問題について経済学の考え方を利用して説明することが求められます。新聞等で伝えられる日々の情報だけでなく、経済財政白書に載っているような、ある程度掘り下げた背景分析、政策面での対応、市場の反応等、一つのテーマについてある程度まとまった予備知識をもっていることが理想的です。
- TAC では、1次レベルの経済学の復習とともに、現実の経済問題についての知識もご紹介しながら、経済学の活用法を講義していきます。皆様のご参加をお待ちしています。

以 上